

発 行  
福井県大野市天神町1番1号  
大 野 市 役 所  
電話(代) 6-1111  
郵便番号 912  
印刷 松浦印刷所



6月の人口の動き

出生	男 23	女 28	計 51
死亡	8	8	16
転入	39	49	88
転出	45	45	90
世帯数	10,163(前月+10)		
人 口	42,526(前月+33)		
男	20,444	女	22,082

# 城まつりはふるさとの踊りで

みんなで大きな輪を



踊り「しっちょいな節」「御前踊り」「大野音頭」が祭りの中心になります。

- この3曲が選ばれたのは
- 1、リズムが盆踊りにふさわしい
  - 2、市民の間はかなり普及している
  - 3、郷土の民謡として由来や歴史的な背景が確かである
- などの理由からです。

昔から大野市は福井県の民謡の宝庫だといわれています。昭和46年には県から民芸の里づくりの指定を受け、遠い祖先が生活の中で作り、歌い、伝えられてきた民謡を、市文化協会が3年がかりで集録してきています。これまでに収集した歌はなんと250歌、いずれも広大な自然の中ではぐくまれた私たちの祖先が、いかに豊かな人情を持ち、しかも勤勉であったかを立証してくれています。

今年の城まつりには踊りを通して私たちの祖先の心を訪ねましょう。そしてこうした市民の輪がやがて岐阜県郡上八幡町の郡上おどり、白鳥町白鳥おどりと結び、全国的に知られる夏の風物詩になることは間違いありません。  
(写真は盛大だった昨年の納涼踊り大会)

第6回のおおの城まつりは、8月1日から16日まで郷土の民謡踊りを中心に市内9箇所の広場で繰り広げられます。おおの城まつり実行委員会はこれまでに郷土民謡指導員50人を委嘱し、浴衣がけでみんなが踊れるよう練習会を数多く行ってきました。有志数名の方々のご好意による立派な移動やぐらもできました。歌集2万部も

とりそろえて祭りを待つばかりです。行事の日程・内容は各家庭へお届けしたリーフレットのとおりで。夏の夜をみんなで大いに踊りましょう。昨年までの祭りには大名行列やカーニバルを行ってきましたが、「大野でなければできない城まつりにしよう」「越前おおの踊りの名で全国に紹介しよう」というみんなの願いから、今年は郷土の民謡

# 自治功労者らを表彰

## 市制19周年記念式典で

市制19周年記念式典が7月1日市役所で行われ、市政の発展に功労のあった個人51人と15団体、また国民健康保険に加している182の健康優良世帯が市長から表彰されました。

市政功労者は。次のみなさんです。

( )内、個人は住所、団体は代表者です。(敬称略)

【地方自治】金子正(篠座町)、安川竜男(下舌)、桜井孟(下打波)、加藤秋仲(木本)、羽生又左エ門(医王寺)、坂本文雄(坂戸)。

【納税】森本金太郎(高砂町)、泉太郎(元町)、五番下納税組合(安田武雄)、寺上一同(中道貞仁)、横町同(安土義雄)、東大月同(飛川直治)、深井同(畑中幸雄)、中西出同(穴田敬造)、木本領家同(加藤秋仲)、森政領家同(広瀬忠)、木落同(川端長重) 土布子同(松本一男)、金山同(桜田達夫)。

【民生】石田治郎兵衛(太田)、五井確也(吉)。

【社会事業】せきれいグループ(南部範子)。

【教育】大野市学校フィルムライブラリー(宮北行雄)、大野生活学校(大宮千枝子)、勝矢富美子(春日三丁目)、

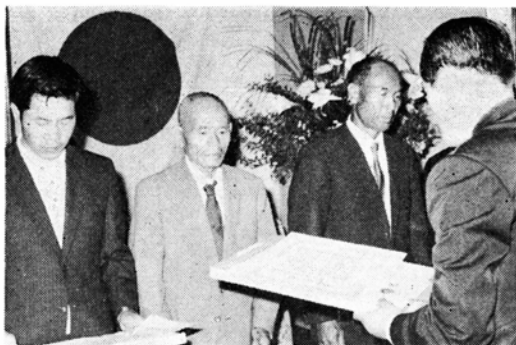
和田芳枝(泉町)、明石礼子(新町)、田中安芸子(天神町)、門前俊子(西山)、桑野和夫(日吉町) 宮崎一男(伏石)、永田房子(新庄)、河合美代子(新町)。

【産業】乾側酒米振興会(松村剛太郎)、権守七太郎(平沢)、中村浅吉(森政地頭)、四方土也(月美町)、原梅之助(元町)、安土義雄(日吉町)。

【保険衛生】杉川三助(西山) 高井都(泉町)、村塚や江(泉町)。

【節婦】寺尾タツ子(泉町)。

【消防】伊東敬一郎(猪島)、矢田輝雄(下舌)、穴田与一(木本)、松田義雄(上黒谷)、篠原長右エ門(阿難祖地頭方)、島口武雄(木本)、宮沢正治(高砂町)、黒田磯司(下黒谷)、谷口敏栄(稲郷)、水元政栄(野中)、前田清一(下郷)、長谷清(中掘) 埴山武(蕨生)、三島貞治(上野)、松田太(上野)。

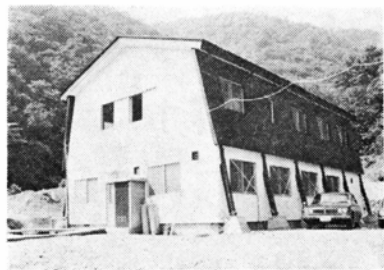


表彰を受けられる納税組合の代表者

長谷川与一(下麻生島)、高石正(井ノ口)、久保論(上打波)、池田庄太郎(中荒井二丁目)、松間利夫(上中野)、小池学(上中野)、加藤善太郎(中保)、坪内利男(南新在家)。

## 秋生 作業員宿舎完成

### 森林開発の拠点



新築された市森林組合の作業員宿舎

西谷地区秋生に森林組合の作業員宿舎が総工費740万円で、この程完成しました。建物は鉄骨二階建て延272平方メートルで30人収容、冬期の豪雪にも耐える立派なものです。

この建物は秋生の山林開発の拠点として、活用が期待されます。秋生には市の山林が610㌔あり、昭和37年度から市と森林開発公団・大野市森林組合で分収造林を進めており、47年度までに333㌔の植林をしました。

今後は残りの山林の植林を行い、昭和80年度から伐採できる見込みです。

広大な秋生の山々は笹生川ダムによりふところに満々と水をたたえ、山をつなぐ交通はモーターボート2隻で毎日20人の作業員の方が宿舎と作業現場を往復しています。



## ③ 木造 地蔵菩薩半迦像

昭和33年7月、市の文化財に指定された鍛掛洪泉寺の本尊延命地蔵菩薩は、行基菩薩の作と伝えられます。御丈1.8㌔の寄木造半迦像で、温容慈願、秘仏として大切に保存されています。

寺伝によると、天平年間に行基菩薩がこの地にこれ、衆生救護の心願を諸仏に



か懸け、大きな桑の木で延命地蔵を刻んで安置されたのが、桑懸地蔵のはじめであるといわれています。

また、洪泉寺には行基菩薩ご夢想のやいとが代々の住職によって伝えられ土用のうしの日などは多くの信者が各地からおまいます。

もと伽羅院寺と呼ばれた洪泉寺は、天正2年(1574)兵火に焼け、天正5年に再建されて曹洞宗洪泉寺となったのですが、古い歴史を物語る多くの古文書も残されています。

## 善導寺川を魚の住む川に

### コイの稚魚3,500匹放流

「元気に大きくなーれ」  
「赤や青、いろいろいるよ」…大和町など5区の子供200人と大人100人が、7月25日善導寺川へコイの稚魚3,500匹を放流しました。

この川は昭和30年ごろまでは、子供が水遊びのできる美しい流れでしたが、最近のごみや汚水で魚の住めないものとなってきました。このため、大和町区長斉藤平栄さん(64歳)が「コイを放せばごみや汚水を流す者がなくなる。町づくりはまず川から」と川沿いの日吉町3・5・6区・弥生町に呼びかけました。

みんな大賛成で、7月22日には流域の



大きくなってコイを放す大和町の子ら

方々300人が出て川のごみや泥をさらい、また川沿いの各家庭では自宅の排水路をきれいにして放流に備えました。

こうした5区のみなさんの活動は町を美しくする運動のモデルとして、大いに期待されています。

#### スマイル

#### 「城まつり」

踊る利口に 見る利口

—おおの踊り

コーナ—

### 浸水なくし、防火用水に備え

#### 大桜用水路の改良工事進む

市は3号幹線水路(大桜用水路)の改良工事を進めています。

この水路は上庄地区の農業排水や雨水を集めて市街地に流し、町の防水用水として重要な役割をしています。

しかし、大桜や上神明、春日1丁目、2丁目地区では水量が多いため大雨の時などには家屋に浸水することがあります。

この工事は浸水をなくし、防火用水が不足している春日3丁目などへ分水して市街地全体の利水効果を上げようとするものです。

工事費は865万円で、上神明国道158号線バイパス北側の387㏎で水路改修と水門新設工事、春日3丁目では水路新設工事を行っています。

#### 観光地美化運動

ずてるまいひとつのゴミに泣く景色  
(自然はみんなの財産です。自分の  
ゴミは必ずお持ち帰りください。)

8月1日から7日まで

下庄小学校に水泳プールが完成し、7月20日しゅん工式がありました。毎日炎天の続く時だけに、690人の児童の喜びもひとしおで式の後にはプールいっぱい白い水しぶきを上げてはしゃいでいました。

プールはたて25㏎、横10㏎の5コースで工費は920万円。

付属建物には水をきれいに保つ砂式循環ろ過機、足洗場、消毒槽、洗眼場、シャワーがあります。

市は昭和37年度から始めた中学校のプール建設に次いで、小学校にも年次計画でつくってきています。



新しいプールで大はしゃぎの下庄小の子供たち

「ワイイほくらのプールだ」  
下庄小に完成

第1次試験の合格者を対象に口述試験と身体検査

#### 5、受験手続

市役所庶務課にある申込用紙に必要事項を書いて写真(上半身脱帽正面向、縦6センチ、横4センチで6か月以内に写したもの)をはり、提出する。

申込用紙を郵便で請求する場合は、「初級試験申込用紙請求」と朱書き、あて先を明記して20円切手をはった返信用封筒を同封する

6、受付期間  
9月1日から9月14日まで。郵送の場合は9月14日までの消印のあるもの。

「注意」第1次試験は県人事委員会に委託し県の初級試験と同時にすることになりますが、県の初級試験とあわせて、受験することはできません。

### 市職員採用試験

申込みは9月14日まで

市の職員採用候補者初級試験を次のとおり行います。

#### 1、採用予定人員

㊦事務職4人、㊧保母15人、㊨建築技術職1人、㊩看護婦1人、㊪栄養士1人。

#### 2、初任給

高校卒 3万7,500円  
短大卒 3万9,900円  
大学卒 4万3,400円

#### 3、受験資格

昭和24年4月2日から31年4月1日までに生まれた者。学歴、性別を問わない

#### 4、試験の日時、場所、方法

<第1次試験>10月14日(日)午前9時から藤島高等学校で。

事務職は教養と作文試験、技術職は教養と専門試験

<第2次試験>11月上旬大野市役所で。

### 国保の年金の変更届けは14日以内に

### 手続きは市民課で

会社や工場をやめられた時は、すみやかに国民健康保険、国民年金加入の届出をしてください。

手続きは14日以内に世帯の国民健康保

険証、以前に国民年金に加入していた方は年金証書・印鑑を持って市民課までおいでください。また今まで国民健康保険、国民年金に

加入しておられた方が、会社や工場へ勤めるようになった時もすみやかに届出て保険料が二重納めにならないように注意してください。

## お知らせ

#### ◆…成人式は同学年で

今までの成人式は成人の日(1月15日)を基準にして対象者を決めてきました。しかし、同級生が1年後の成人式になって友だちと別れ別れになり淋しいという新成人の方のご意見が多いので、これからの成人式は同学年の方を対象に行います。ですから、来年1月15日の成人式は昭和28年1月16日から昭和29年4月1日までに生まれた方が該当者です。

#### 献血にご協力を

8月21日(火)10時～15時

稲山織物K.K前(春日2丁目)

#### ◆…妊婦乳児に無料健康診査を

市は新しく妊婦の方と乳児に健康無料診査票をお渡しして、健康なお母さん、赤ちゃんづくりに役立てていただくことになりました。

妊婦健康診査無料受診票は母子手帳と同じに市民課で2枚お渡しします。分娩予定日まで有効ですから、産科の病院・医院でご利用ください。健康診査の結果

#### ◆…自衛官の募集

- 1、応募資格 満18歳以上25歳未満
- 2、待遇 衣食住官給  
初任給 3万5,600円  
賞与年3回
- 3、問い合わせ・申込先市役所庶務課(6-1111)、または自衛隊福井地方連絡部へ。(0776-23-1910)



**今月の納税**

市・県民税 第2期

31日までに納めてください。



### 今月の 体育行事

- 第5回少年ソフトボール大会  
2・3日 9時から  
開成中・有終南小グラウンド
- 第5回お母さんバレーボール大会  
5日 9時から  
下庄小体育館
- 第25回県民体育大会  
11・12・13日県内各市町村で  
相撲競技は12日 9時から市営相撲場(有明町)で
- 第5回大野市スポーツ少年団大会  
25・26日 9時から 奥越青少年の森

#### ◆…ゴミは7時30分までに

夏はゴミが腐りやすいため、8月31日まで収集時間を早めます。市民のみなさんは午前7時30分までに所定のステーションへゴミを出してください。

#### ◆…文化祭作品の準備を

第7回市総合文化祭は11月1日から3日まで市民会館を主会場に行われます。同実行委員会では今のうちから作品製作に心がけられ、たくさん出展されることを望んでいます。

テーマ 「創造への躍進」

種別 絵画・書道・彫塑・工芸・デザイン・写真・その他



「踊るあほうに見るあほう」とはひと昔の民衆の懐かしいことばであった。それくらい庶民は踊り歌うことを唯一の娯楽とし、社交の場としたものだ。戦後、心のよりどころを失った民衆は踊りや歌を忘れた。その中で戦後二十八年の流行歌史は移り変わる世相を如実に表現してきたが、人々は決してそれに満足はしなかった。▼古くから民衆の中に根強く育った踊りや歌は、今日よりやく新しく見直されようとしている。ひところ論争された中央と地方文化の問題は、その一過程であったかも知れない。文化のもつ特殊性はむしろ地方にこそあるので、中央には単なる過密化した人間のあえぎしかない。より人間的なおのちの立ちこめる「ふるさと」は今やあらゆる面に「郷愁」として急激な高まりを見せている。このことは人間の本性に立ち返るものとして率直に受けとめたい。▼夏の風物詩である盆踊りはさまざまな内容と形をもって各地に保存されている。もともと盆踊りは盆に招かれてくる先祖の精霊をなぐさめ、また送るための踊りと考えられる。夜を徹して老若男女が輪になって踊る姿は平和そのものである。▼当市は古くから民謡の宝庫でもある。それを復活して、城まつりの恒例の行事として永久に保存していくことになった。更に奥越前と奥美濃を結ぶ民謡と踊りのラインを意図したことは、われわれ郷土人のみならず、この地を訪れる旅人たちの旅情をそそるに違いない。ひなびれたまちに残る歌と踊りを伝承することは、ともすれば離合集散常ならぬ現代人の心と心をつなぐ、唯一の結びの糸とでもいふべきか。

(M生)